



こうべ子どもにこここ会ニュース

巻頭言 多様な背景を持つ子どもたちからの学び —ボランティア活動を通じた成長に接して—

乾 美紀

こうべ子どもにこここ会（以下、にこここ会と記す）は主に日本語・教科学習支援教室、夏休み宿題教室、スペイン語母語教室を主催するとともに、多文化フェスティバル深江などの地域のイベントにも参加している。地域との連携を大切にしており、地域ぐるみで多様性を尊重し、多文化共生社会の実現に向けた活動を展開している。

私も地域の住民として、また研究者として、外国人の子どもたちに関わり始めて 20 年以上になる。2002 年に現事務所の隣室に設立されていた「多文化保育園」で週 1 回ボランティアをしていた時はほとんどの子どもがブラジルなどから来た日系南米人であった。それ以降もにこここ会でボランティアのヘルプとして子どもたちと関わったり、運営委員としてお手伝いを続けているが、近年、特に気づくことは、子どもたちのバックグラウンドや言語が多様化していることである。以前はポルトガル語、スペイン語を耳にしていたが、現在ではネパール語、タガログ語、中国語、ベトナム語なども耳にすることがある。パキスタン出身の子どもが親とウルドゥー語で話すこともにこここ会で学んだ。実に多様な背景を持つ子どもがにこここ会に集まってきていることを実感している。

日本語・教科学習支援ボランティアとして参加して下さっているうち多くが地域の方々であるが、大学の授業でボランティアを募集した際ににこここ会で活動し始めた学生もいる。教員の立場から見ると、ボランティアを経験した学生の成長には目を見張るものがあるのでそのことについて自分か感じることを記したい。

まず海外にルーツを持つ子どもたちの文化や習慣を吸収することで自分の視野が広がり、多様な価値観を身につけることができている。日本にしながら複数の言語や世界の文化・習慣に触れることは大きなメリットだと考える。次に、多くの学生が子どもたちとのコミュニケーションに苦慮し、うまく支援ができない経験をするが、そのような困難を乗り越えることで、前向きな態度や柔軟性を身につけることができている。異文化の壁を取り払い、子どものニーズに合わせて勉強を教えている姿を見ると大きな成長を感じる。さらに、自分たちが持つ「特権」に気付く学生もいる。自分たちの当たり前が外国人の子どもたちにとってそうではないこと、マジョリティである自分たちが変わることの大切さに気付くことで、これまで以上に積極的に活動するようになる。

いずれも目に見えない成長であるが、にこここ会でのボランティアを経て卒業する学生には大きな自信が満ち溢れている。もちろん学生だけではなく、筆者のような社会人も人生の学びを深め、ネットワークを広げることができるという喜びや成長がある。

コロナウイルスにより入国制限が撤廃された現在、さらにたくさんの外国人が増えると思定できる。今後も地域の皆さんと「ヨコ」のつながりを深め、子どもたち、学生を含むボランティアさんと年齢を超えた「タテ」の繋がりを意識しながらにこここ会を支えていくことができればと思う。

活動レポート



放課後日本語・教科学習支援教室

毎週二回、木曜と土曜日の放課後に本庄地域福祉センターで、小・中学生を対象にした学習会を行っています。子どもたちとボランティア支援者がタッグを組んで、日本語の理解や教科学習の向上に励んでいます。また日本の季節の行事や遊びを通じて、子どもたちが日本の生活に溶け込めるような、居場所としての活動も行っています。

中学生は月曜と水曜日にも、多文化学習会で学んでいます。



就学前児童のためのプレスクール



就学前児童を対象にしたプレスクールです。

ゲームや遊びを取り入れながら、楽しくひらがなや数字の勉強をしています。

日常会話以外に、小学校に入学すると使う言葉や動作を実際に動きながら学んでいます。



夏休み宿題教室

夏休みの真ただ中、8月第一週の午前中に、恒例の宿題教室を行いました。

国語や算数をはじめ、読書感想文や絵画などひとりでは取り組みにくい宿題を持ち寄り、にこにこ会の支援者や地域の大学生の方々のサポートを受けて仕上げました。また、理科実験「どの色の影に入ったら涼しいかな？」を参加者全員で実施しました。

炎天下の屋外で汗をかきながら、黄・赤・青などのセロハンを用いて温度測定の実験をしました。





スペイン語母語教室の取り組み

Estimados padres de familia, deseando que todos estén bien.
Seguiremos poniendo mucho esfuerzo para que nuestros niños aprendan y la pasen bien, siempre cuidandolos.

保護者様

いつもご協力ありがとうございます。子どもたちが楽しく学べるよう、支援者一同さらに努力をかさねてまいります。
今後ともよろしくお願いいたします。



子どものにほんごクラス

土曜日 PM15:00~16:00 来日から3年未満の児童生徒を対象としたクラスです。
日本語の先生、ボランティアの皆さんと「ことば」のお勉強をしています。



2022 年度イベント報告



多文化フェスティバル深江 カフェ NIKONIKO

2022 年 10 月 23 日昨年に続きコロナ禍ではありましたが、ソーシャルディスタンス、消毒、マスクの徹底を図り、地域の方々のご理解とご協力のもと、カフェ NIKONIKO を開催することができました！！

東灘日本語教室、多文化共生センターひょうごをはじめ、支援者の皆さんや地域の大学の学生さん、外国につながる子どもたちとも交流を図りながら楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

子ども店員としてもがんばっていました。

支援ボランティアの皆さんと (▽)/お疲れ様でした

メニュー表とスイーツです





掲示板



会員になって私たちの活動 を支えてください。

＊正会員【年会費 5000 円】 個人
総会での議決権がある会員です。

＊サポーター会員【年会費 1 〇 1000 円】
個人 1 〇 以上・法人 1 〇 〇 以上
経済的な支援を頂く賛助会員です。

※寄付も大歓迎です♪

郵便振替 〇〇900-4-251298
こうべ子どもにこにこ会

(同封の振込用紙をご利用ください)

★「東灘区こどもの居場所 MAP」(東灘区社会福祉協議会発行)に掲載されました。

★会員の皆さま、ご寄付くださった皆さま、ご支援ありがとうございます !!

皆さまのご支援により、にこにこ会の活動は成り立っています。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます

＜正会員・サポーター会員の皆様＞(順不同・敬称略)

延原臣二 北村広美 大岡栄美 乾美紀 酒井滋子 武田丈 松田陽子 鈴木庸子

橘直人 中畠孝幸 山口一史 田中康夫 横山文夫

★表彰

ひょうご国際交流団体連絡協議会から、「草の根国際功労賞」をいただきました。

★2022 年度に助成・ご協力いただいた団体 ありがとうございます !!

(公財)兵庫県国際交流協会、神戸市東灘社会福祉協議会 東灘善意銀行(ダイヘン)

(財)ひょうごコミュニティー財団(ひょうご・みんなで支え合い基金)(真如苑ひょうご多文化共生基金)

BE KOBEミライPROJECT, JICA、本庄ふれあいのまちづくり協議会



日本語・教科支援ボランティア募集

それぞれの子どもの学習能力やニーズに対応し、主に日本語(国語)・数学(算数)・

英語の学習を1対1でサポートしています。原則として日本語でサポートを行います

ので、外国語能力・経験等是不問です。やる気のある方歓迎です。

☆活動時間：木・土 16:00～18:00 ☆活動場所：本庄地域福祉センター

月曜日 15:30～17:00 ☆活動場所 神戸市立本庄中学校

※ボランティア オリエンテーション(要予約)に参加してみませんか？

オリエンテーション担当 松下 までお気軽にお問い合わせください。

問合せ先：078-453-7440



Email: kobekodomo_nikonikokai@yahoo.co.jp



こうべ子どもにこにこ会

〒658-0022 神戸市東灘区深江南町4-12-20-201

TEL・FAX 078-453-7440

Email kobekodomo_nikonikokai@yahoo.co.jp

URL <http://nikoniko.qee.jp/> (☞「こうべ子どもにこにこ会」で検索!)

